

## 投 稿 規 定

1. 投稿資格：著者は原則として本学科教職員（元教職員，元京都大学医療技術短期大学部教職員を含む），その共同研究者および本学科教職員が推薦・紹介する者とする。ただし，京都大学医学部保健学科紀要編集委員会（以下，編集委員会）が依頼した者についてはこの限りではない。
2. 投稿論文の内容：健康科学の進歩に寄与するものであり，未発表のものに限る。二重投稿は認めない。
3. 著作権：掲載された論文の著作権は，編集委員会に帰属する。掲載された論文等は，原則として電子化し，インターネット等を通じて公開する。
4. 論文の形式：論文は和文を原則とする。英文での投稿を希望する時は，あらかじめ編集委員会に申し出る。
5. 論文の種類：総説，原著，短報，諸報告（論評，解説，活動報告，紹介記事，随想，等を含む）とする。
6. 査読：編集委員会は受け付けた原稿の査読者を決定し，査読を依頼する。総説，原著および短報は，原則として2名の査読者により査読を行う。2名の査読者の意見が不一致の場合は，第3の査読者による査読を行う。その他の原稿については原則として査読審査を行わないが，編集方針に従って原稿の加筆，削除および一部の書き直しを指示する場合がある。
7. 採否：投稿論文の採否は，査読結果をもとに編集委員会が決定する。
8. 論文の受付：原稿（図表，資料等を含む）はコピー2部を添え（計3部），編集委員会に提出する。編集委員会に提出された日をもって受付日とする。なお，掲載が決定した原稿については，最終原稿を記録したフロッピーディスク等も添えて提出する。
9. 校正：著者による校正は再校までとし，校正時における内容の変更や追加は認めない。
10. 印刷費：原則として著者が本学科教職員（元教職員，元京都大学医療技術短期大学部教職員を含む），その共同研究者および編集委員会が依頼した者の論文については無料とし，本学科教職員が推薦・紹介する者の論文については経費を徴収する。なお，原画の描画を外部に依頼するときやカラー写真印刷を希望するときなどは，その経費を著者の負担とする。
11. 別刷：別刷は50部を単位とし，50部をこえる分の経費は原則として著者の負担とする。

### 原稿作成における留意事項

1. 原稿は原則として，常用漢字，ひらがな，現代かなづかいを用い，A4判用紙に40字×30行程度でワープロを用いて印字する。句読点は。 ， を用いる。外国語固有名詞（人名など）は原語を，一般に日本語化された外国語は，カタカナを用いる。度量衡単位はCGS単位とする。
2. 原稿の枚数（1枚40字×30行，本文・文献・図表を含む）：原則として原著および総説は10枚以内（刷り上がり10頁以内），短報は4枚以内（刷り上がり4頁以内）とする。ただし，編集委員会が指示した原稿についてはこの限りではない。
3. 表紙（原稿第一頁目）には表題，著者名，所属およびその所在地をこの順に従って書く。著者の所属の表記は，筆頭者は無記号，共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に，\*，\*\*，印をつけ，区別する。続いて，英文の表題，著者名，所属を書く。著者名の姓は，大文字で表記する。さらに，ランニング・タイトル，希望する論文の種類，原稿の枚数，図表の数，別冊希望部数を書く。
4. 次頁には，英文抄録（200 words程度）およびKey words（8語以内）をダブル・スペースで書く。
5. 論文の項目の区分は，原則として下記の例に従う。  
大項目…無記号のゴシックで記し，前を一行あける。原著論文のはじめに，方法，結果，考察などが相当する。  
小項目…以下の順で使用する。  
1. ， 2. ……行の第1字目に記す。  
1)， 2) ……行の第2字目に記す。
6. 図および表にはそれぞれ別の通し番号をつける。図版や写真は，図として扱う。図はなるべく原寸大とし，明瞭でそのまま印刷できるものとする。図・表の説明文は，まとめて原稿の末尾につけ，原稿本文中の欄外余白部に，図・表の挿入位置を朱記し明示する。
7. 謝辞は，本文の末尾に入れる。
8. 文献は，下記の要領に従い，引用順に配列し，本文の末尾に一括記載する。本文中の文献引用文などの右肩に，その文献番号を<sup>1)</sup>，<sup>1,3,6)</sup>，<sup>2-5)</sup>のように記す。

### 雑誌の場合

【著者名：表題，雑誌名，発行年（西暦）；巻数（必

要であれば号数) : 頁 (始-終)] の順に記す。雑誌名の省略記法は、和文誌については日本医学誌略年表 (日本医学図書館協会編)、英文誌については Index Medicus に従う。

〈例〉

- 1) Sakaguti K, Jameson EW: Two new fleas from Japan. *J Med Zool*, 1959; 10: 156-162
- 2) 菅沼美奈子, 内山和美, 三井政子: 性周期記録表の試み. *母性衛生*, 1978; 19: 76-82

#### 単行本の場合

[著者名: 書名. 発行地: 発行所, 発行年 (西暦): 頁 (始-終)] の順に記す。

〈例〉

- 1) Eliot TS: *The Complete Poems and Plays*. London: Faber & Faber, 1969: 25
- 2) Pedretti LW: 身体障害の作業療法 (小川恵子, 山口 昇, 青木真由美訳). 東京: 協同医書出版

社, 1985: 103-115

- 3) 砂原茂一: *リハビリテーション*. 東京: 岩波書店, 1980: 20-28

#### 編集図書の場合

[章の著者名: 章のタイトル. 編者名. 書名. 発行地: 発行所, 発行年: 頁 (始-終)] の順に記す。

〈例〉

- 1) Schwartz TW, Tager HS: Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In: Bloom SR, Polak JM, eds. *Gut Hormones*. 2nd ed. Edinburgh, London, Melbourne, New York: Churchill Livingstone, 1981: 202-205
- 2) 富田 仁: 救急時検査の手技と解釈・アミラーゼ. 富田 仁, 熊谷直家, 内田耕太郎編, *検査診断マニュアル*. 第1版. 東京: メヂカルフレンド社, 1978: 96-99